

人吉高等学校五木分校 平成30年度学校評価表

1 学校教育目標
ア 本校の綱領「礼節」「勤労」「進取」の精神を念頭に、全職員一体となって愛情と信頼を基調とした教育を実践し、心豊かで調和のとれた、社会に貢献できる人間の育成を図る。
イ 豊かな自然環境の中で、豊かな人間性と健康な体を育み、自信と誇りをもった澁刺とした生徒の育成を図る。
ウ 小規模校としての特長を最大限に生かし、生徒一人一人の個性を伸ばすとともに、特色ある学校づくりを実践する。

2 本年度の重点目標
教育スローガン「一人一人が輝く分校生！」
1 授業改革に取り組み、基礎学力の充実を図る。
2 生徒指導の徹底を図り、基本的な生活習慣の確立を図る。
3 進路指導の充実を図る。
4 多様な生徒への対応に努める。
5 地域に根ざした特色ある取組を推進する。
6 校務改革に取り組み、生徒と向き合う時間を確保し、職員の多忙化の解消に努める。

3 自己評価総括表						
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
学校経営	信頼される学校づくり	広報活動の充実	ホームページの充実を図るとともに、分校ニュースを職員が輪番で担当して年11回発行し、学校行事等での生徒の頑張りを情報発信する。	ホームページを毎月複数回更新し内容を充実させる。毎月、分校ニュースを保護者、地域機関、五木村民、出身中及び学校評議員に配付し、ホームページに掲載する。	A	一昨年、受賞した学校ホームページ部門「NEXT熊本賞」の反響が大きく、ホームページへのアクセス数は急激に伸びている。内容がわかりやすく暖かみがあり、教育活動の様子がわかると高い評価をいただいている。分校ニュースは五木村民と管内中学校に配付することで、地域や中学校からの信頼感が高まった。
		ボランティア活動の充実	学期に1回以上、年5回以上、全校生徒・職員で地域貢献のための環境美化活動や交通指導を行う。	定期考査最終日及び夏休みに、五木分校周辺の清掃・美化活動を、月初めの早朝に交通指導を行う。	B	雨天のために計画どおりに消化することが出来なかった。生徒にはボランティアに対する積極的な姿勢が芽生えてきた。
		五木秀麗会との連携強化	秀麗会総会・報告会の出席率100%を目指す。保護者との良好な協力関係を構築する。	保護者が参加しやすい日程を考える。担任と保護者間で密な連絡、相談等を行い、良好な協力関係を保つ。	B	仕事の都合上、秀麗会総会及び報告会の出席率100%を達成することはできなかった。体育的行事など学校行事へは積極的に参加してもらった。
		地域に密着した教育活動の	地元保育園・五木小学校・五木中	第6回保・小・中・高合同大運動会の円滑な運営を	地元保育園・小学校・中学校及び各校種PTAと密接な連絡体制	

	充実	学校との合同事業の充実	行う。本年度は五木東小学校が担当校。小学校や中学校との交流、合同研修会や行事を充実させる。	と連携を図る。救急講習、防災教育等の中学校との合同開催を実施する。	A	り上げることができた。防災教育及び防消火避難訓練も中学校と協力して実施できた。様々な交流事業をとおして、生徒の責任感と自主性の育成につながった。
		地域中学校との連携強化及び入学生徒数の確保	毎月1回担当職員が中学校を訪問する。平成31年度入学数を2桁にする。	各中学校を分担して職員が担当し、連絡体制を強化する。学校説明会や体験入学を充実させる。マスコミ媒体を利用して、生徒募集に特化した宣伝を行う。	A	毎月の中学校訪問も定着し、卒業生の状況報告もできた。体験入学には、50名程の参加者があり、五木分校への関心の高さがうかがえた。高校説明会では、スライドを利用し、五木分校の生活を具体的に示したことで、中学生とその保護者に、楽しくてわかりやすいと大好評であった。
		五木村関係機関や団体との連携と行事等への協力	警察と連携した交通安全指導等への参加。消防署と連携し、心肺蘇生法や防災教育を行う。分校でしか体験できない教育活動を展開する。年10週の挨拶運動を実施する。	五木村で行われる交通安全運動、社会福祉協議会の創立祭、山開き、ロードレース大会、駅伝大会等に生徒会を中心に積極的に参加する。地域との良好な協力関係を構築する。	A	挨拶運動は、生徒会を中心に主体的な活動ができた。社会福祉協議会の創立祭は荒天のため中止であった。交通安全運動や駅伝大会、祭りなどにも積極的に参加し、五木村活性化に貢献できた。2連覇を目指した駅伝大会では健闘したが惜しくも2位であった。
学力向上	教育課程	教育課程の検討実施	教育課程の編成・実施と管理	将来のビジョンに関する検討と進学指導体制の強化	B	生徒一人一人の進路先を十分に検討し、個に応じた指導体制を確立できた。進路変更の生徒に対しても十分な指導ができた。
	基礎学力の定着	学校設定科目「ステップアップ」の充実	生徒間の競争意識の高揚を図り、全員が6段階以上の昇級を目指す。	全学年を3段階の習熟度別グループに分けてTTによるきめの細かい指導を行う。振り返り学修を適宜導入する。	C	基礎学力の定着を目指した取組みそのものは実態に即していたが、自ら学ぼうとする意欲の低い生徒がおり、複数人が目標とした6段階以上の昇級を達成できなかった。
		家庭学習時間の確保	一年生は1時間、二年生は2時間、三年生は3時間を目標とする。	学年に応じた基礎学力向上を目指した質と量の課題を作成する。		
	授業の充実	わかる授業の構築	生徒の学力に応じた授業の工夫と個別指導を充実させる。	各定期考査前に学習会を実施する。出張時の授業変更を確実に実施する。	B	定期考査前の学習会や個人指導は充実していた。全教職員が研究授業を実施し、授業の自習もゼロで
		授業時間の	授業の自習をゼ	研究授業後の合評会		

		確保 研究授業の実施と研究会・研修会への参加	口にする。 各教科の職員が学期に1回以上研究授業を実施する。	の充実を図る。 各種研修会へ積極的に参加する。		あった。各教科の担当者は1人であるため、教科指導力向上のためには校外での研修の機会が必要である。
キャリア教育	キャリア教育の充実	キャリアガイダンスの充実 「総合的な学習の時間」における系統的な進路学習と体験学習の充実	外部講師による進路学習を積極的に取り入れる。 自然体験学習を充実させ、社会生活に必要なコミュニケーション能力、思考力、創造力を身につけさせる。	進学、就職への講話や、社会生活に向けた学習を行う。 体験学習には学校全体で取り組み、生徒が主体性を持って取り組むような工夫を行う。	B	計画通りに外部講師によるキャリアガイダンスを実施できたが、社会生活に向けての生徒の心構えが不足している。体験学習に対する意欲に生徒の個人差があり、目標とするコミュニケーション能力を身につけることはできなかった。
	個に応じた進路指導	各自の進路希望に応じた個別指導の実施	進路希望の100%達成を目指す。	個別面談を適宜実施し、個に応じた課外や面接指導を行う。関係諸機関との連携を図りながら個別指導と対応を充実させる。	A	全職員協力して、個に応じた就職対応の面接指導を行った。3年生全員が希望の進路目標を達成できた。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚	基本的な生活習慣の確立	自らの力で生活態度を向上させる態度を養う。	学習・生活の記録を毎日提出させる。保護者と連絡を密に行う。	C	学習・生活の記録から家庭での様子を知ることができた。学習時間や家庭への協力が少なく、携帯電話に費やす時間が多。
		規範意識の高揚 家庭との連携	生徒会行事や学級活動等での団体行動や月例会講話を通して、規律ある行動ができるような集団をつくる。 問題行動、トラブル等を未然に防止する態度を養う。	交通安全、整容や言葉遣い、マナー等の向上に取り組む。 アンケート調査、生徒の日常観察、家庭との密な連携等により全職員で生徒の状況を把握し、トラブル等の未然防止に努める。	A	整容面での軽微な違反や、級友間での些細なトラブルはあったが、個別に指導することで規範意識の喚起はできた。 落ち着かない生徒に対しては家庭や外部機関との連携を取りながら適切、迅速な指導を行ない、改善が見られた。
	生徒の主体的活動の充実	生徒会活動の充実と部活動の活性化	全生徒が生徒会活動に参加する。部活動への加入率を100%とする。	全生徒が、生徒会の係を分担し活動を行う。 生徒会による生徒総会、月例会の運営を充実させる。 部活動で、各種競技会等への積極的な参加を行う。	B	学校行事には責任を持って取り組む姿が見られた。企画運営能力の向上は評価できる。部活動に対する意識が低く、加入率は100%に届かなかった。各種大会や展示活動には最低限参加することができた。

人権教育の推進	個々の生徒に応じた適切な指導	生徒一人一人の状況把握と柔軟な対応	各学期1回以上、職員研修(生徒理解、特別支援等)を実施する。毎週の運営委員会で生徒の状況報告と実態把握を行う。	外部の専門家との連携を密にし、積極的な活用を図る。生徒理解のための資料を作成し、全職員が生徒個々の特性と現在の状況を理解して指導に当たる。	A	外部専門家との連携が十分に取れた。毎学期、支援会議を開催し、生徒の支援につなぐことができた。また、定期的にスクールカウンセラーによる職員研修を実施し、特性を持つ生徒への具体的支援や理解を深めることができた。
		生徒と教職員、生徒同士の望ましい人間関係の構築	3年間を見通した人権教育LHRを計画的に実施する。各行事を通して、自尊感情の定着とともにお互いを認め合うことができる生徒を育成する。	学年毎にテーマを設定してわかりやすい授業を行う。学校行事では、生徒全員がお互いに協力してつくりあげる取組を重視して計画させる。職員も参加して支援する。	A	毎月の集会で人権講話を取り入れるなど人権意識の向上が図られた。地域のボランティア活動をとおり責任感とリーダーシップを養うことができた。校内外で互いを思いやり協調して活動する姿がみられた。
	「命を大切にすることを育む指導」	取り組みをとおした命の尊厳並びに他者の価値観を尊重する自尊感情の育成	指導プログラムを作成し、各学期「命を大切にすることを育む」授業やLHRを実施する。月例集会講話等で思いやる心や強い心を醸成する。	各教科科目の授業で「命を大切にすることを育む」についての授業を行い、職員も参観する。LHR、総合的な学習の時間や月例集会等を活用し、日頃から、「思いやる心」について触れた話等を行う。ボランティア活動の深化。	B	全国の自死事件を生徒に知らせるとともに、毎月の集会で「命の大切さ」について教頭が講話を行った。各教科においても「命を大切にすることを育む」という観点で授業を実施したが、全職員が参観できるまでには至らなかった。
いじめの防止等	いじめ防止基本方針の着実な推進	いじめを許さない心をはぐくむ指導の充実	いじめ発生「0」を目指す。いじめにつながらない学校全体の雰囲気を作る。毎日必ず生徒と会話をする。	全体指導と個別面談等を行い、いじめの未然防止に努める。月例集会で生活態度等について注意を喚起する。生徒の小さな変化を見逃さず迅速な対応を心がける	A	生徒は互いを尊重し良好な友人関係を築いている。毎月の集会で「いじめ撲滅」について講話を行うことで、生徒が教員に相談しやすい雰囲気作りに努めた。アンケート回答ではいじめ件数は0であった。
		生徒の状況把握と迅速な指導体制の構築	相談窓口の周知を行う。日頃の生徒間の行動観察と情報共有を図る。年3回の心のアンケートを実施する。外部の専門家を活用したいじめ問題対策委員会を毎学期、年3回	相談窓口は、合格者説明会・入学式・1学期始業式・五木秀麗会総会で生徒保護者に周知する。生徒相談係、担任の日常観察及び運営委員会報告等により、全職員が生徒の変化を把握した上で適宜対処する。いじめ防止に	A	心のアンケートや普段の悩み相談から生徒の困り感や悩みに迅速かつ丁寧に対応することができた。外部の専門家を交えたいじめ問題対策委員会を実施し職員の意識向上に努めた。スクールカウンセラーによるソーシャルスキル・トレーニング

			実施する。 いじめ防止基本方針を職員に周知する。	る職員研修を行う。		グを全生徒が実施し自己理解を深めた。
地域連携 (コミュニティ・スクールなど)	防災型コミュニティ・スクールをベースにした、防災意識の高揚と、地域と一体となった連携体制の構築	防災教育の充実	学校防災年間計画を作成し、防災教育の充実を図る。	生徒の防災意識を高める取組を計画し、生徒の地域との連携の重要性を認識させる。	A	地域関係機関と連携し、学校防災年間計画を作成した。防災講話や防消火避難訓練を実施し、生徒の意識を高めることができた。
		地域や関連機関との連携の確立	五木村教育委員会・消防署・派出所と連携し、計画的に協議会を開催する。	五木村教育委員会・消防署・派出所と連携を取り合い、防災拠点としていつでも活用できるよう準備する。	A	防災教育に関する地域の連絡協議会に参加し、連携を取ることができた。特に警察署と消防署とは十分な協議を重ねた。
職員研修	職員の資質の向上	職場での不祥事の根絶と職員の意識の高揚	分校職員の不祥事「0」を目指し、毎学期、不祥事根絶のための校内研修を実施する。 職員朝会で適宜職員としての規範意識の高揚を図る。 互いの言動に目を光らせ、教育目標達成に向け一丸となる。	毎日の職員朝会要項に本校教育目標を掲げるとともに、不祥事0の継続日数を表示する。 職員朝会で適宜不祥事の事例を紹介し、注意を喚起する。 積極的にコミュニケーションを取り合うことで情報や悩みを共有する。	B	朝会要項に不祥事根絶のテーマを掲げ、毎学期「不祥事防止研修」を行った。また、同僚感が強い集団であり、教育に対する喜びや悩みを共有できている。 休暇を取りやすい雰囲気を作っており、身体面・精神面で問題を抱えている教職員はいなかった。残念ながら交通事故が2件発生した。

4 学校関係者評価

1 学校評価表（自己評価）の内容や評価について

(1) 学校教育目標について

- ・綱領をもとに自然豊かな環境の中で生徒を指導し、それぞれの能力を生かしていく方針は適切である。
- ・適切であると思います。
- ・立派な目標である。さらにその目標に沿って光永校長が全日制、定時制、五木分校それぞれに合わせた具体的目標を設定し、入学時より積極的に取り組まれているのが良い。
- ・「礼節」「勤労」「進取」の精神は五木分校生としての誇りとなり、教育スローガン「一人一人が輝く分校生」を目指す基盤となっている。
- ・本校の綱領の精神を念頭に小規模校として生徒一人一人の個性を伸ばし、豊かな自然環境の中、豊かな人間性と健康な身体を育み社会に貢献できる人間の育成という素晴らしい目標である。
- ・学校教育目標の具現化のため、小規模校の特徴を活かした項目の重点目標が設定されており、目標が達成できている。

(2) 学校評価の内容や方法について

- ・全日制、定時制、分校とも統一してあり、各項目がグラフ化されており、比較が一目瞭然で、とてもわかりやすい
- ・適切であると思います。
- ・アンケートのみではなくアンケートの各項目分析、および対策が記されており、とてもわかりやすく見やすかった。
- ・分校の情報や特徴を取り入れとても具体的な評価内容だと思う。アンケート項目も見やすく評価

参考としやすい。

- ・内容や方法は適切であると思います。職員の評価項目の数も整理統合されています。
- ・アンケートの各項目が細かく正確に分析してありとても良かった。
- ・内容、方法ともに適切であると思います。

(3) 学校評価の結果について

- ・生徒、先生、保護者とそれぞれの立場で評価がしてあり、今後の課題も見えてきます。課題として授業の予習復習や家庭での学習や手伝いがあります。授業アンケート2学期集計によると1学期集計よりも格段に評価が高くなっており良いと思います。先生方の適切な指導の賜だと思います。
- ・適切であると思います。
- ・うまくいっているのは山本教頭の情熱ある説明でよくわかりました。
- ・インターハイスローガン決定! おめでとうございます。
- ・小規模校としての特徴を最大限に生かし、地域に根ざした取組がなされていると思う。
- ・生徒一人一人の個性や特性があるために目標に達することが大変だと思いますが、そこもしっかりと捉えて評価されている。
- ・内容、評価ともに適切であり、評価結果も良好であると思います。地域に密着した教育活動は五木分校の魅力、特徴でありそれが充実していることは大変素晴らしいと思いました。
- ・先生と保護者の信頼関係があり、生徒にも良い影響があると思います。
- ・ホームページや五木分校新聞(分校ニュース)がわかりやすくとても良い。
- ・全職員で生徒の為に様々な取組を行われていることがよくわかる。今後もきめ細やかな取組を期待する。

2 教育活動その他の学校改善に向けた取組について

(1) 学校経営について

- ・広報活動はとても適切です。継続をお願いします。ボランティア活動は参加意識の促進が必要だと思います。
- ・保、小、中、高の合同運動会や公的機関、団体との連携協力など地域に密着した活動は素晴らしいと思います。
- ・適切であると思います。地域との連携が素晴らしいと感動しています。
- ・昨年度のICTコンテスト「NEXT熊本賞」受賞が生徒募集にもつながっていて素晴らしいと思います。
- ・地域に密着した教育活動は五木分校の強みですね。今後も続けてください。
- ・広報活動としてホームページの充実や分校ニュースなどの配布で生徒の頑張りを情報発信できている。また、教頭先生をはじめとして、入学生徒の確保に向けた先生方の努力が見えます。
- ・地域との連携の中から互いの協力関係が構築されており、信頼される学校作りができていると思います。
- ・分校ニュース、ホームページの活用も素晴らしく、学校パンフレットの中身や配付についても地域社会との連携が取れています。保育園、小学校、中学校との一貫性も見事でした。
- ・取組については適切であると思います。「地域に密着した教育活動の充実」については今後も更に進展していくことを期待しています。
- ・分校の情報発信内容が充実しわかりやすい。保護者や地域との連携が保たれている。今後とも地域密着型の信頼される学校情報を発信し続けてください。
- ・様々な行事で保護者と地域と学校が協力して取り組んでいる様子が素晴らしい。
- ・分校ニュースやホームページで中学生に良い宣伝ができている。地域に根ざした秀麗会の活動も素晴らしい。
- ・小規模校の特色を十分に生かした、個に応じた教育が浸透している学校経営である。

(2) 学力向上について

- ・生徒個々への進路指導、学習指導は適切であると感じます。少人数で大変だと思いますが先生方の学力向上のための校外研修への参加をお願いします。
- ・アンケートでは昨年よりも高い評価となっているが、自ら学ぶ意欲のない生徒、予習復習をしな

い生徒への指導をよろしくお願いします。

- ・基礎学力の定着については中学校としての責任も感じています。しっかりと受け止めて今後も取り組んでまいります。
- ・五木分校の一番の課題ですね。
- ・基礎学力定着のための取り組み、個に応じた指導体制の確立が学力向上につながっていると思います。
- ・生徒が自ら学ぼうとする意欲を高めるためにどうするかは大きな課題だと思います。
- ・基礎学力定着の「ステップアップ」は大変有効である。家庭学習の定着が課題である。
- ・個々の生徒に応じた取組の中で生徒個々の学力に応じた工夫がされている。
- ・生徒一人一人への指導体制、学習意欲をあげる工夫等も見られとてもいいと思います。
- ・家庭学習の取り組みが改善されることを期待します。

(3) キャリア教育について

- ・3年生全員が希望の進路を達成して喜ばしい。先生方のご指導のおかげだと思います。
- ・キャリア教育については生徒の個人差、受け止め方の相違があるかもしれませんが、社会に出てからの大切な基本になると思いますのでご指導よろしくお願いします。
- ・適切であると思います。
- ・3年生全員の進路達成素晴らしいですね。
- ・生徒が主体性を持って取り組むような工夫を行うとありますが、もう少し具体的な工夫をあげていただきたいです。
- ・全職員および外部講師の指導により2学期中には3年生全員が進路を決定したことは高い評価です。職員や保護者の評価も高く継続した指導を期待します。
- ・取組は適切であると思います。3年生全員の進路が決定したことは素晴らしく、個々に対する課外や面接指導の成果であり、それが五木分校の魅力であると考えています。
- ・すでに2学期には3年生全員が進路決定をしていたということで先生方の適切な指導ができていたと思います。
- ・キャリアガイダンスの充実とともに個に応じた進路指導がしっかりと行われ早期に進路決定ができて良いと思います。
- ・子供は1年生ですが上級生を見ていると適切だと感じております。
- ・小規模校の一番秀れている点であり、今後も引き続き熱心なご指導をお願いします。
- ・個々の生徒に応じた取組をされている。
- ・生徒に対して一生懸命進路指導を実施されているのがわかる。
- ・一人一人に対応した指導は、すばらしい。今後も生徒の声を聴いて、御指導よろしく申し上げます。
- ・外部講師を招聘しての講話や体験学習は有効。職員・保護者における学校評価も高い。

(4) 生徒指導について

- ・「学習生活の記録」の提出、その内容までは知ることはできないが家庭と学校を繋ぐ素晴らしい取り組みであると思います。
- ・携帯電話の使用時間が長いのが気になります。家庭と協力してのルール作りが必要ではないでしょうか。
- ・メディアとの関係、使用時間の長さ等も中学校として課題を感じています。中学校としても努力していきたいと思います。
- ・携帯電話によるトラブルは年々増加しています。日頃から丁寧な指導をお願いします。
- ・基本的な生活習慣の確立のためにも保護者との協力は必要だと感じます。生活態度の向上、主体的活動の充実のためにも部活動への参加を頑張ってほしいと思います。
- ・少人数なのでマンツーマン的な指導ができ、指導に目が届くようです。学習や生活の記録を取らせることも有意義だったと思います。
- ・取組は適切であると思います。基本的な生活習慣の確立だけではなく生徒の主体的活動が充実していることは素晴らしいことと思います。
- ・基本的な生活習慣の確立は家庭の課題でもある。学校と協力しやっていきたい。

(5) 人権教育の推進について

- ・ 3者とも高い評価で徹底した教育、指導の結果です。適切になされています。
- ・ 適切であると思います。
- ・ 生徒個々の特性と現在の状況を理解し、望ましい人間関係の構築ができています。学校全体で「命を大切に作る心」を学ぶことは大切なことだと思います。
- ・ 生徒一人ひとりの状況把握に努められ、適切に対応されている。
- ・ 職員研修もしっかりとやっておられて非常にいいと思います。
- ・ 小規模校の特色を生かし一人ひとりに向合った適切な指導がなされていると思います。
- ・ 地域のボランティアにも積極的に参加されるなど良い経験になっている。
- ・ スクールカウンセラーや小学校、中学校との連携も取れており、一人一人を大切にされた指導・支援が行われていると思います。
- ・ 生徒一人ひとりの実態把握により、外部機関とも連携しながら、生徒の人権に配慮した指導・支援が行われている。

(6) いじめの防止等について

- ・ 3者とも評価は100%であり、とても良好です。日々生活されている地域との連携も大きな要因であると推察されます。
- ・ 適切であると思います。きめ細やかな個々に応じた対応に深く感謝しています。
- ・ 外部専門家との連携は大切なことだと思います。また、生徒が教員に相談しやすい雰囲気作りがうまくいっていることは素晴らしいと思います。生徒の小さな変化を見逃さないことがいじめの防止につながると思います。
- ・ 健康観察やいきいき相談等を通じて、生徒の変化の早期発見に努め、全職員で個々の事例に対応できる。いじめ防止活動が適切に実行されている。
- ・ 「心のアンケート」をはじめ健康相談やいきいき相談等で生徒の変化の早期発見に努め相談しやすい雰囲気作りが素晴らしいと思います。
- ・ 生徒一人一人の状況把握に努められ、適切に対応されている。
- ・ いじめ案件が0は素晴らしい。これからも継続してほしい。

(7) 地域連携（コミュニティースクールなど）について

- ・ 防災意識の高揚、地域との連携はうまくいっており、適切です。近年、自然災害も多くなっており、あらゆる状況に即応できる体制作り、動じない精神の鍛錬もお願いします。
- ・ 五木村との連携が良く取れていて安心しております。
- ・ 適切であると思います。
- ・ 素晴らしいという以外の言葉が思いつきません。
- ・ 防災教育の充実とともに地域や関連機関との連携体制はよくできていると思います。

(8) 校務改革・職員研修について

- ・ 先生方で問題点を提起し共有し一つ一つ解決しながらよりよい五木分校を創ってください。
- ・ 遠距離通勤、どうぞ安全運転をお願いします。
- ・ 全日制と比べると時間があると思うので是非分校時代に多くの校外研修を積み重ねてください。
- ・ 日々の研修継続とともに細心の注意を払い、頑張ってください。
- ・ 多くの校内研修をとおして取組の成果は十分出ており職員間の団結の強さを感じます。
- ・ 少ない人数で調整が大変だと思いますが、各種研修会には数多く参加いただいて子供の学力アップにつなげていただければと思います。

3 その他

- ・ 31年度インターハイのスローガン「光る汗 支える汗の 交響曲（シンフォニー）」が選ばれたことはとても生徒や五木村の誇りになっていると思います。おめでとうございます。
- ・ 高校総体でのバドミントン部の活躍、五木村駅伝での活躍など頼もしく思います。
- ・ 交通事故が2件発生したとありますが遠距離通勤には気をつけてください。
- ・ 高校総体のスローガン選出おめでとうございます。とてもすてきなスローガンだと思います。
- ・ 本校のように分校からも自主性を持った生徒が育つことを期待しています。

- ・成功体験を持つ生徒を是非育ててください。
- ・先生方と生徒さんの温かさが伝わってくる学校だと心強く感じています。この特性を生かし頑張ってください。
- ・地域に密着した教育、小規模校の強みを生かした教育が充実していることがよくわかりました。
- ・評議員会の時に教頭先生の分校を語る言葉の1つ1つに熱意と愛情があふれていました。
- ・今回も取組の成果が出ていることを嬉しく思います。先生方の賢明な取組に心から敬意を表します。
- ・五木分校は地域に根ざした教育ができるので、一人一人の成長の場としては素晴らしい環境にあると思います。
- ・日頃からホームページを見て、生徒の生き生きとした様子は伝わっておいりました。今日、学校評価を見て、少人数の強みで一人ひとりに焦点をあてた見事な指導がわかりました。
- ・小規模校の特性を十分に生かした教育が出来ていると感じました。これからも小規模校のよさを発信できる五木分校になってほしいと思います。

5 総合評価

1 本年度の学校教育目標

アの目標は、本校綱領「礼節」「勤労」「進取」を基盤とした人吉高校としての目標（本校全日制・定時制・分校共通）であり、適切であった。

イ及びウの目標は、五木分校の特性に応じた目標であり、分校全職員が共通認識を持って取り組むことで、小規模校ならではの生徒一人一人に応じた教育の実践を図ることができた。また、地域と密に連携を取り合うことで、地域に根ざすことができた。

2 本年度重点目標

教育スローガン「一人一人が輝く分校生！」を掲げ、生徒一人一人に応じた適切な指導を行い、生徒を認め・ほめ・励ましながら一緒に取り組むことで、生徒が日々の教育活動で活躍する場面を作りだし、自己肯定感や自信に繋がる教育を実践することができた。

1「授業改革に取組み、基礎学力の充実を図る」では、基礎学力向上のための学校設定科目「ステップアップ」を充実させ、課題等の工夫改善と生徒の家庭学習の習慣化を図った。また、ICT活用授業を多く取り入れるなどわかりやすい授業の構築に努めた。定期考査前学習会の実施や個別指導の充実で、生徒一人一人への丁寧な学習指導を充実させることができた。

2「生徒指導の徹底を図り、基本的な生活習慣の確立を図る」では、保護者や地域との協力の下、生徒の基本的な生活習慣の確立を図り、落ち着いた学校生活に繋げることができた。毎月の月例会集講話等を通して、規範意識の向上と他を思いやる態度を育むことができた。

3「進路指導の充実を図る」では、キャリア教育の一環として、ジョブカフェやハローワーク等から外部講師を招聘し、進路実現に繋げた。また、キャリアカウンセラーと全職員による面接練習を導入し、生徒のコミュニケーション能力の向上を図ることができた。さらに、「体験学習」を充実させることにより、達成感や自己成就感を味わわせ、生きる力を育み、自己肯定感に繋げることができた。

4「多様な生徒への対応に努める」では、毎朝の健康観察で生徒の心身の状態を把握するとともに、今年度も「いきいき相談（生徒と特別支援コーディネーターとの面談）」を実施し、生徒一人一人の悩み感を迅速に解消することができた。また、スクールカウンセラーや特別支援コーディネーターの協力を得て、生徒理解研修や支援会議を毎学期開催することで、全職員が共通理解を図り指導に役立てることができた。

5「地域に根ざした特色ある取組を推進する」では、保育園、小学校、中学校との連携、地域との協力体制強化を図ることで、異年齢交流や大人数での集団活動を体験させることができた。特に、五木村保・小・中・高合同大運動会では、最上級生としての役割を果たし、自覚、責任感、リーダーシップに繋がる主体的な活動を行うことができた。また、五木村駅伝大会や各種祭等の行事への参加、地域ボランティア活動、あいさつ運動等では、生徒会が中心となって、五木村に関わり、地域に貢献できる行事を推進することができた。また、毎月担当職員が管内中学校への訪問を行い、五木分校の教育活動を知らせるとともに、相互理解と良好な協力関係を保つことができています。

6「校務改革に取組み、生徒と向き合う時間を確保し、職員の多忙化の解消に努める」では、風通しが良く教職員間で相談しやすい雰囲気作り、年休の積極的取得の啓発で全員が健康で向上心を持って業務に励むことができた。

3 自己評価総括

掲げた目標は概ね達成することができた。特に地域との連携や管内中学校への広報活動では大きな成果を得られた。また、人権教育、進路指導、いじめ防止への取組で高い評価を得ることができ、「生きる力」「主体的に動く」「他人を思いやる心」などの育成につながった。他にも、数値目標として実施回数を掲げた項目は全て実施できた。

これは学校教育目標達成に向けて全職員が一丸となり取り組んだ結果である。次年度以降も生徒の成長を第一に考え、分校の特色を生かし、地域と連携しながら学校の活性化に努力していきたい。

6 次年度への課題・改善方策

(1) 「基礎学力の充実」

<改善方策>

- ・授業の充実（個に応じた指導の徹底、興味・関心、意欲を引き出す授業の実践）
- ・学校設定科目「ステップアップ」の充実（振り返り学習の充実、個別指導の徹底）
- ・家庭学習の習慣化（家庭との連携強化）
- ・学習課題の工夫と改善（個の進路希望に応じた学習指導）

(2) 「入学生徒数の増加」

<改善方策>

- ・管内中学校との協力関係の強化（中学校訪問による情報交換）
- ・五木村とのさらなる連携による魅力ある五木村作りへの貢献
- ・職員全員の危機感と生徒募集への意気込み
- ・体験入学・学校説明会の工夫
- ・五木村内の保育所、小学校、中学校との連携及び合同行事の充実
- ・広報活動（ホームページ、分校ニュース等）の強化充実
- ・学習指導の工夫充実と進路指導の徹底

(3) 「キャリア教育の充実」

<改善方策>

- ・各学年の応じたキャリア教育の強化（ライフプランニング授業・インターンシップ等の充実）
- ・「体験学習」の充実（主体性、達成感・自己成就感、自己肯定感の醸成）
- ・個に応じた進路指導の充実（個別面談・個別指導の充実、自己表現力の育成、外部講師招聘）